

友だちって、どんな存在？

友だちの数は12.9人

「一緒にいて楽しい」だけじゃない、子どもたちの友だち事情。

今を生きる子どもたちにとって、「友だち」とはいったいどんな存在なのでしょう。人数はどのくらい？一緒に何をしています？「友だち」と「親友」の違いは？…など、小中学生のリアルな友だち事情について、子どもたちの声を聴きました。

友だちと一緒にいるのはひとりであるより楽しいけれど、相手の気持ちを慮って、我慢したり気をつかうことだってある。友だちのことは大好きだけど、ひとりになると正直少しほっとする。子どもたちのそんな本音が、ここには見え隠れしています。

博報堂教育財団こども研究所は、全国の小4～中3男女600人を対象に、子どもをとりまくさまざまなトピックスについて調査しています。「子ども」「ことば」「教育」などに関するトピックスについて、子どもたち自身がどう感じ、考えているのかを明らかにすることを目的としています。

1 友だちの平均人数は12.9人

- 「1人～9人」が277人（46.2%）、平均人数は12.9人。
- 友だちの平均人数は、女子より男子、小学生より中学生のほうが、わずかに友だちの平均人数は多い。

2 友だちとするTOP5：おしゃべり、登下校、ゲーム、部活、LINE

- 多い順に「おしゃべり」「登下校」「ゲーム」「部活」「LINE」と並んでいます。
- 「おしゃべり」は女子>男子、「ゲーム」は男子>女子。「LINE」は中学生女子62.7%の結果となりました。
- 「リアルで会ったことがない友だち」がいる人は全体の15.0%でした。

3 楽しい話をする遊び仲間が友だち、本音や悩みを言えるのが親友

- 友だちは一緒に遊ぶ相手であり楽しい話はするが、本音までは言わない間柄。
- 親友は特別。自分のことをわかってくれて、なんでも話せる存在であると認識していました。

4 友だちといるとテンション高いけど、ひとりの時が本当の自分

- 友だちといると「テンション高い」「明るいキャラを演じている」「少しだけ無理をしている」「空気を読んでしまう」一方、ひとりしていると「おとなしい」「さびしい」「自然体でリラックスできる」「本当の自分でいられる」など子どもたちのコメントから違いがみえてきました。

5 友だちの数は少なくてもいい 良い関係を保つには楽しさの中にも努力が必要

- 「友だちの数は少なくてもいい」が60.0%。友だちはなろうとして作るものではなく、「いつの間にか友だちになっている」が77.8%。そして友だちと一緒にいるのは、「ひとりであるより楽しい」は84.0%でした。
- さらに、友だちに嫌われることは「ぜったいにしたくない」72.3%、わざわざ「相手の短所を言ったりしない」73.3%と関係を保つための心構えが伝わってきました。

6 少し大人な中学生女子の友だち観

- 友だちの数の増減では中学生女子の場合「減った」と答えた人が13.3%。
- 「友だちの数は少なくてもいい」71.3%、「友だちになることは大変だ」59.3%と全体と比較して10～15%ほど高くなりました。友だち付き合いにおいて、より本質的な関係を求め始めているのかもしれない。

1

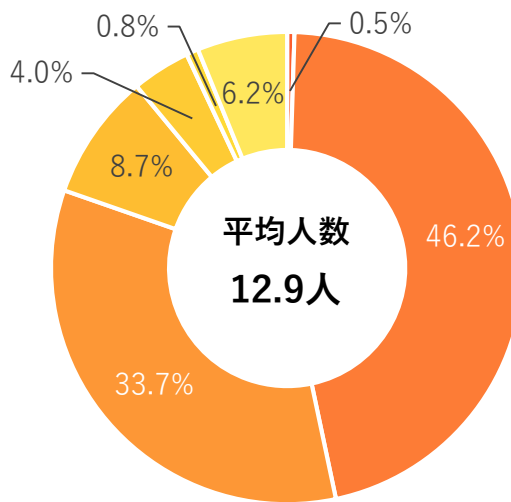
友だちの平均人数は12.9人 女子より男子、小学生より中学生がやや多め

- 友だちが「1人～9人」と答えた人が、全体の約半数46.2%、「10～19人」が33.7%。
- 平均すると友だち人数は12.9人。
- 属性別で見ると、女子より男子、小学生より中学生で友だちの人数は多く、最も友だちが多いのは中学生男子の14.9人、最も少ないのが小学生女子の10.3人となっています。

Q. あなたには友だちが何人くらいいますか？

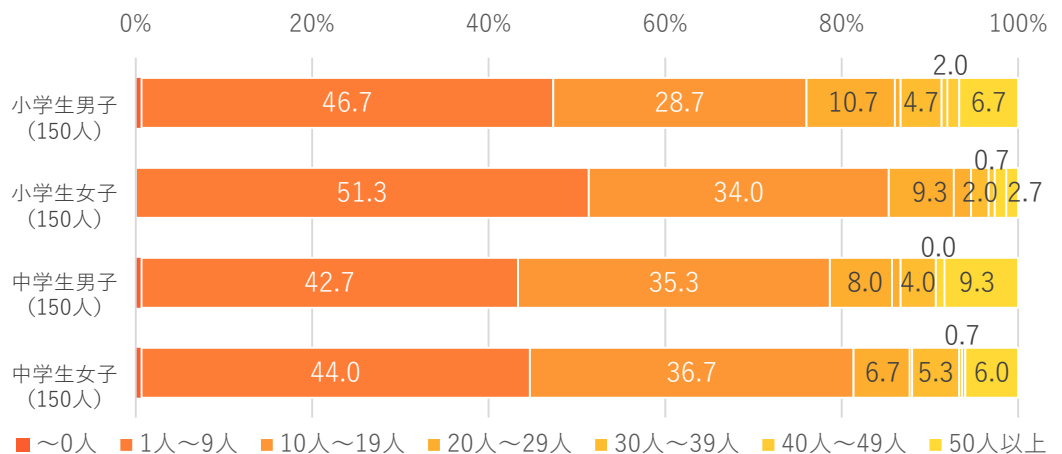
※自由回答で人数を答えてもらったものを、集計しています。

■ 全体



■ 0人 ■ 1人～9人 ■ 10人～19人 ■ 20人～29人 ■ 30人～39人 ■ 40人～49人 ■ 50人以上

■ 属性別



平均人数

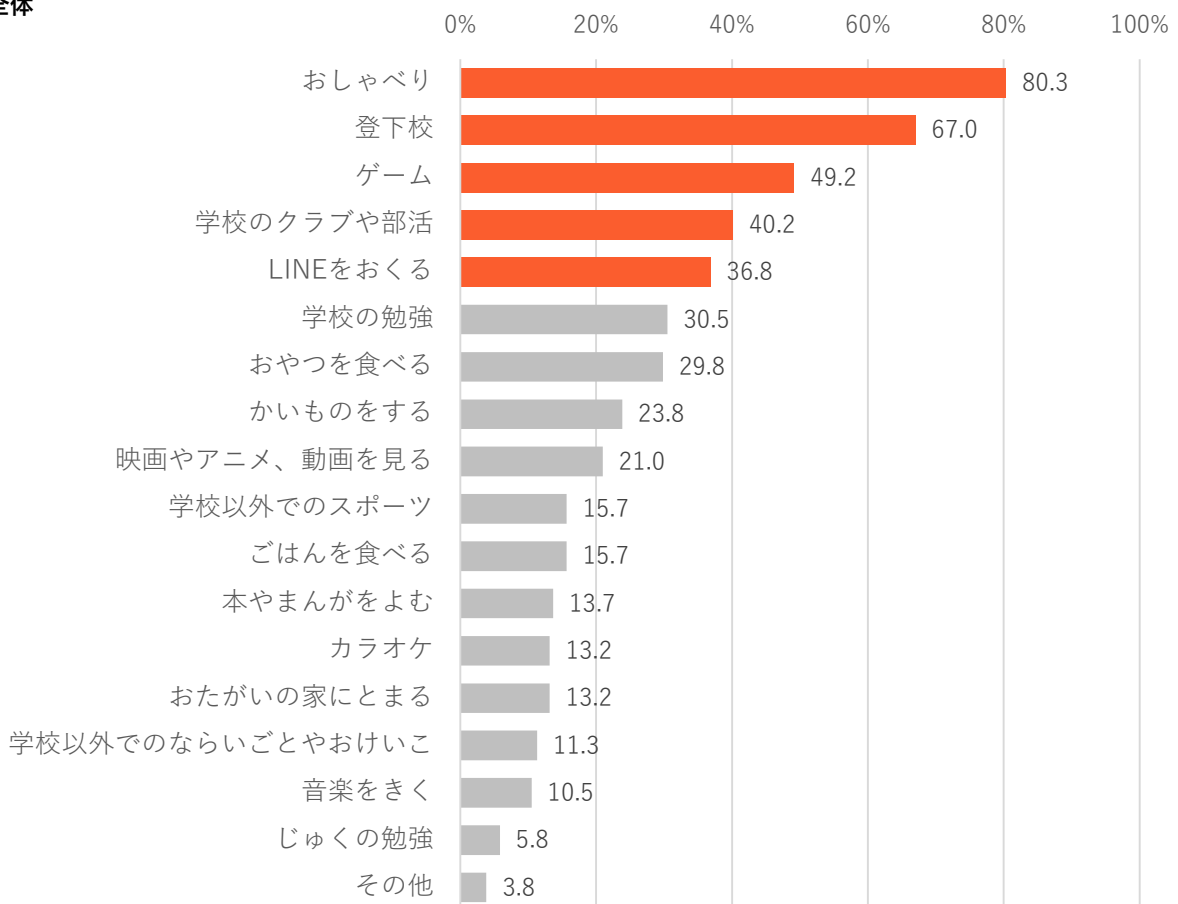
全体	12.9
小学生男子	13.6
小学生女子	10.3
中学生男子	14.9
中学生女子	12.7

友だちとするTOP5 おしゃべり、登下校、ゲーム、部活、LINE

- 多い順に「おしゃべり」「登下校」「ゲーム」「学校のクラブや部活」「LINEをおくる」。
- 「おしゃべり」は女子>男子、「ゲーム」は男子>女子。「LINE」は中学生女子が他より高い結果でした。
- その場と一緒にいない友だちと、ゲームやLINEを楽しむことはあっても、リアルで会ったことのない友だちがいる人は全体の15.0%でした。

Q. あなたは、友だちとは一緒に何をすることが多いですか？

■ 全体

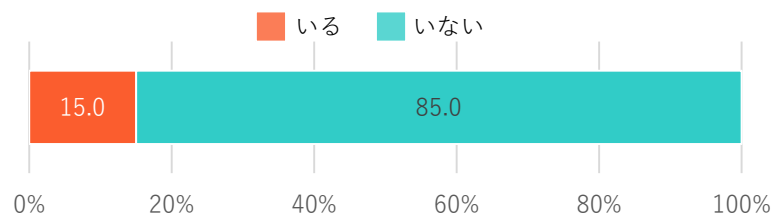


■ 属性別

<属性別上位3項目>

- 小学生男子 ①おしゃべり (73.3%) ②**ゲーム (65.3%)** ③登下校 (61.3%)
 中学生男子 ①おしゃべり (70.0%) ②登下校 (64.0%) ③**ゲーム (62.0%)**
 小学生女子 ①**おしゃべり (89.3%)** ②登下校 (70.7%) ③**おやつを食べる (44.7%)**
 中学生女子 ①**おしゃべり (88.7%)** ②登下校 (72.0%) ③**LINEを送る (62.7%)**

Q. SNSやチャット、ゲームなどでやりとりをするだけで、実際に会ったことのない友だちはいますか。



楽しい話をする遊び仲間が友だち 本音や悩みも言い合えるのが親友

- 「友だち」は一緒に遊べる人。基本的には学校で行動を共にして、楽しい時間を共有する相手。人数がたくさんいるのが「友だち」。
- 「親友」は学校の外、お互いの家などでも会うことがある、なんでも話せて悩みも相談できる人、楽しい時だけでなく、自分や相手がつらい時にもそばにいたいと思う。本心を打ち明けられる相手なので、人数は限られるのが「親友」。
- そのほかに、「悲しいとき一緒に泣いてくれる」「自分の全てを受け止めてくれる」「すべてを理解してくれる」など寄り添ってくれる人のことを「親友」と位置付けていました。

Q. 「友だち」と「親友」の違いはなんだと思いますか？

友だち

親友

人数

■ 何人でも

- ・何人いてもいい (小4男子・山梨県)
- ・だいたいクラスの子は友達って言う (小4女子・北海道)
- ・一緒に集団行動をする人たち (中2男子・大阪府)

■ 1人か2人

- ・大きな気持ちを向ける相手なので1人か2人 (小4男子・山梨県)
- ・友達の中で一番仲良い人 (小5女子・愛知県)
- ・特に仲の良い子 (小6男子・岐阜県)

遊ぶとき

■ みんなで遊ぶ

- ・何人かであそぶ (小6男子・茨城県)
- ・何人かで遊ぶ (中1男子・千葉県)
- ・みんなで一緒に遊ぶ (中2男子・神奈川県)

■ ふたりで遊ぶ

- ・2人だけでもあそぶ (小5男子・千葉県)
- ・2人でもあそべる (中1男子・千葉県)
- ・二人で遊ぶ (中2男子・神奈川県)

遊ぶ場所 場面

■ 学校がある日・学校の中だけ

- ・学校がある日に遊ぶ (小4女子・神奈川県)
- ・学校だけで話をする (小6女子・群馬県)
- ・学校やほかの何かだけで付き合う人 (中3女子・長崎県)

■ 休みの日も・友だちの家でも

- ・休みの日も遊ぶ (小4女子・神奈川県)
- ・家に遊びに行く (小6女子・群馬県)
- ・何もなくても会ったり遊んだりする人 (中3女子・長崎県)

会話内容

■ 話す内容は限られる

- ・秘密を話さない (小5女子・兵庫県)
- ・普通の話をする友達 (小6女子・福岡県)
- ・話せないこともある (中1女子・東京都)

■ なんでも話せる

- ・秘密をはなす (小5女子・兵庫県)
- ・お互いに自分の気持ちが伝えられる人 (小6女子・大阪府)
- ・なんでも話せる (中1女子・東京都)

関係性

■ 浅く、今だけ

- ・今だけの付き合い (小4男子・岐阜県)
- ・誰でもなれる (小5男子・神奈川県)
- ・遊んだりして一緒にいて楽しい存在 (中1男子・大阪府)
- ・深い親密さの関係ではない (中1男子・北海道)
- ・軽い付き合い (中3男子・宮城県)

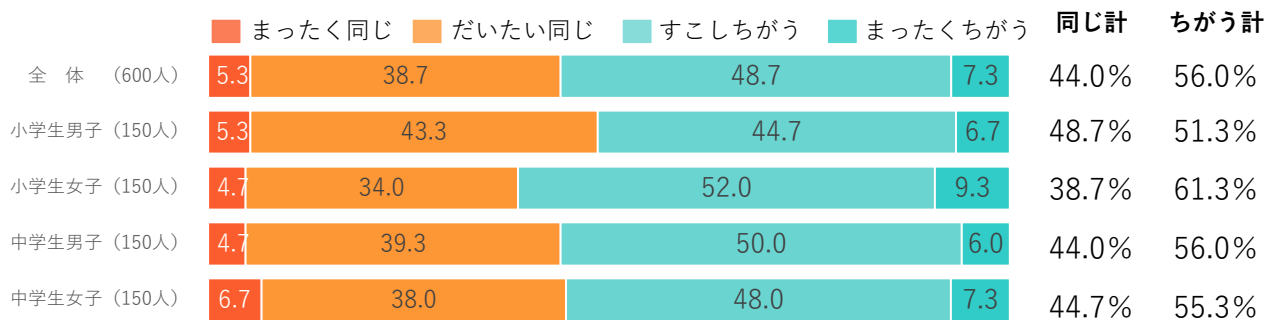
■ 深く、これからも

- ・一生の友達 (小4男子・岐阜県)
- ・心のつながり (小6男子・京都府)
- ・信じ合える関係 (中1男子・大阪府)
- ・長期的で強い絆で結ばれている関係 (中1男子・北海道)
- ・深い付き合い (中3男子・宮城県)

友だちといるとテンション高いけど、ひとりの時が本当の自分

- 友だちといるときの自分とひとりでの自分の「同じ」と答えたのは全体の44.0%（まったく同じ+だいたい同じ計）でした。「違う」と答えた人の方が多数派です。
- どんな違いがあるか聞いてみると、友だちといるときは「たくさんしゃべる」「楽しくていつもテンションが高い」といった声がある反面、「明るいキャラを演じている」「相手に合わせる」「気をつかう」「実はちょっと疲れる」という声もありました。
- 一方ひとりでの自分の時は、「おとなしい」「さびしい」。でも「自然体でリラックス」できて、「本当の自分でいられる」という声もありました。
- 友だちと楽しい時間を過ごすために、子どもたちは結構神経を使っているようです。

Q. 友だちといるときの自分は、ひとりでの自分の時と同じですか？違いますか？どんな違いがありますか？



友だちといるときの時 ひとりでの時

楽しい	さびしい つまらない	<ul style="list-style-type: none"> ひとりだとやることがない。友だちといるとほとんど遊んでいる。 ひとりでのときさみしいけど友だちといると楽しい。 ひとりだとやる気が出ない時がある。何人かいると楽しくできる。 	(小4女子・新潟県) (小6女子・富山県) (中3男子・東京都)
よく話しよく笑う	無口	<ul style="list-style-type: none"> 友だちといるときはたくさん話すけど、ひとりの時はしゃべらない。 友だちといるときは楽しいからたくさん笑ったり話す。 みんなといると楽しくしゃべれるけど、ひとりだとだまってる。 	(小6男子・大分県) (小6女子・埼玉県) (中1男子・大阪府)
明るいテンションが高い	暗い おとなしい	<ul style="list-style-type: none"> 友だちといるときの時の方がテンションが高い。 友だちといるときの自分は明るいキャラを演じていることが多い。実は自分は陰キャラであると思う。 友だちといるときはテンション高め。ひとりの時はリラックスしておとなしめ。 友だちといるときは楽しくテンションがあがりぎみ。ひとりでの時は普通に落ち着いてのんびり。 	(小4女子・愛知県) (中2男子・静岡県) (中3男子・大阪府) (中3女子・新潟県)
気をつかう	マイペース	<ul style="list-style-type: none"> 気をつかうときもある。ひとりで何も気にせず自由にいるのも楽しい。 友だちといるときは気をつかう。ひとりの時は何も気にせずさせる。 友だちといるときは一緒に楽しいと思うようにしたい。少しは気をつかう。 ひとりの時は全く無防備で何も気にしていない時がある。 	(小4男子・神奈川県) (小6男子・群馬県) (小5女子・和歌山県) (中1女子・岡山県)
無理している	自然体	<ul style="list-style-type: none"> 面白いことを言ったり楽しませようとする。少し疲れる時もある。ひとりの時は自然体。 友だちといるときは自分の本当の気持ちを隠して空気を読んでしまう。 ひとりの時は100%の自分をさらけ出せる。友だちといるときは少なからず忖度してしまう。 友だちといるときは相手に合わせている。ひとりの時は本当の自分でいられる。 	(小5男子・神奈川県) (中3男子・茨城県) (中3男子・宮城県) (中2女子・香川県)

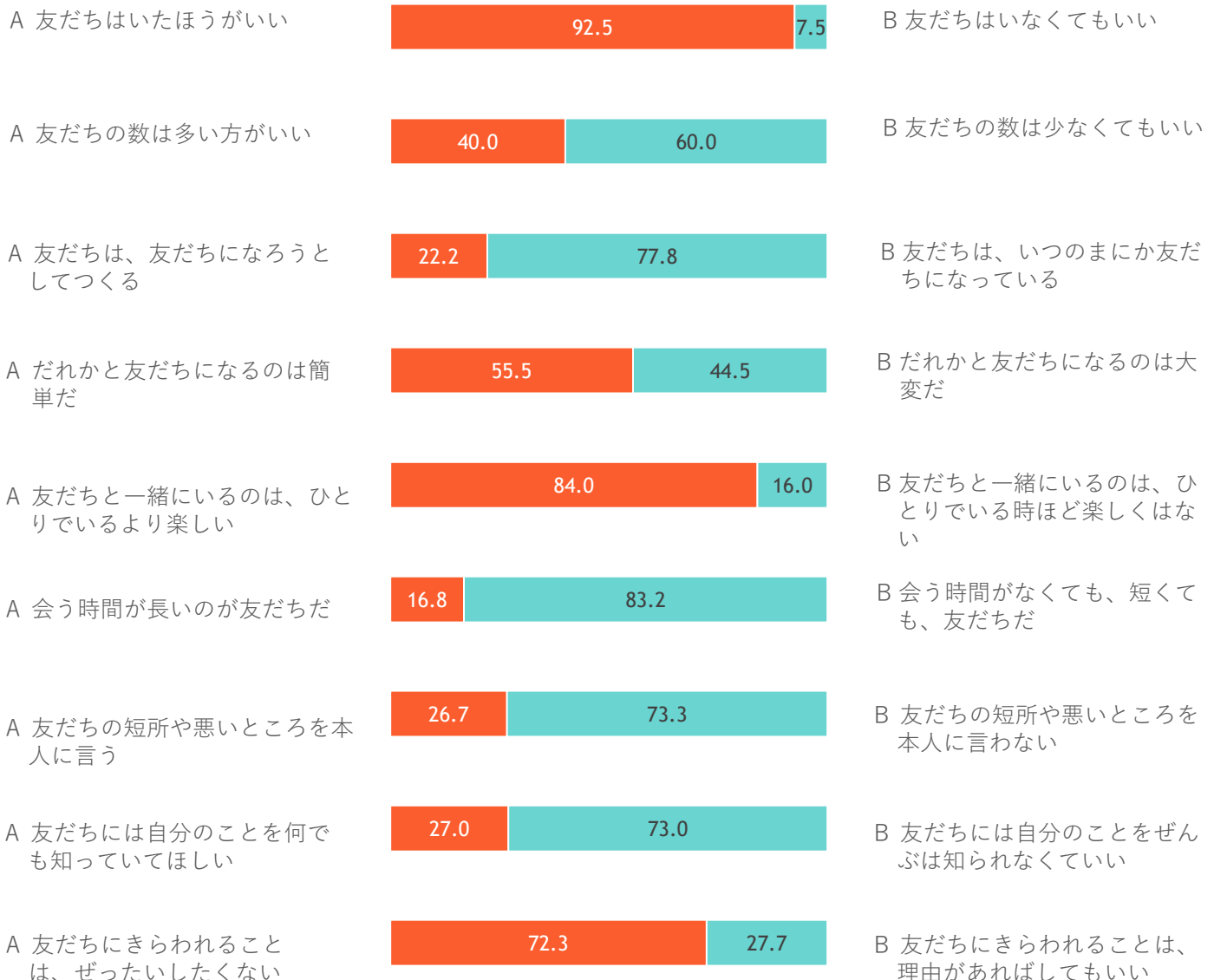
友だちの数は少なくてもいい 良い関係を保つには楽しさの中にも努力が必要

- 多くの子どもたちが、友だちはなろうとして作るものではなくて、いつの間にかできているものだと考えています。そして、だれかと友だちになるのは「簡単だ」と答えた子が、「大変だ」と答えた子より多くなりました。
- 友だちと一緒にいるのはひとりであるより楽しいけれど、友だち関係を円滑に維持していくために、子どもたちなりに気をつけていることがうかがえます。
- 友だちに自分のことを全部は知られなくていい。友だちに嫌われることは絶対したくないし、わざわざ相手の短所を言ったりしないのです。

Q. 友だちについて、それぞれの間で、あなたの考えにあてはまるほうをA、Bどちらか1つえらんでください。

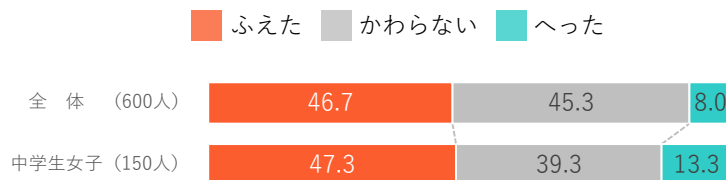
■ 全体

■ Aの方に近い ■ Bの方に近い



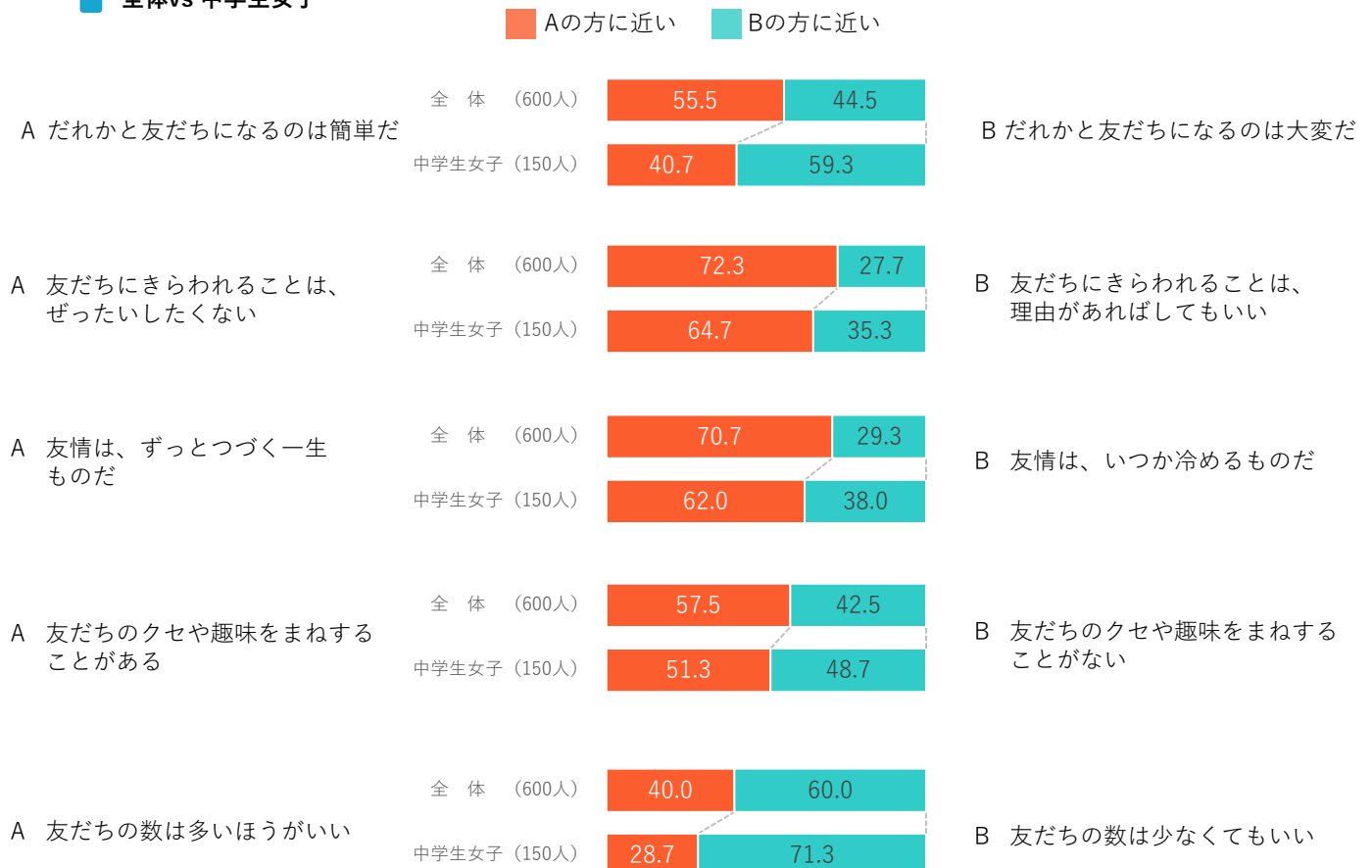
- 属性別でみると、友だちに関する考え（6ページ）において他層と異なる傾向が見られたのが中学生女子でした。
- 友だちの数の増減では、中学生女子では「減った」と答えた人が13.3%と全体と比較して、高くなりました。
- また「友だちの数は少なくてもいい」「友だちになることは大変だ」のスコアが10~15%高くなりました。
- 全体では、友だちは作るけど、関係性を維持することに気を遣っている子どもたちの様子が見えましたが、中学生女子は、それに飽き足らず、より本質的な関係を求め始めるのかもしれない。
- 「友情はいつか冷めるものだ」のスコアも10%弱高く、いろいろな経験を積んでいく中で、複雑な友だち観を持ち始めているようです。

Q. あなたの友だちの数は、むかしにくらべてふえましたか。へりましたか。



Q. 友だちについて、それぞれの間で、あなたの考えにあてはまるほうをA、Bどちらか1つえらんでください。

■ 全体vs 中学生女子



編集後記

いまの子どもたちは、物心つく前からデジタル環境の中で育ち、SNSの存在も当たり前の生活を送っています。それでも調査結果からは、「リアルの関係」を大切に友だちとつきあっている様子が浮かび上がってきました。そして、友だち関係を円滑に保つために、子どもたちは人知れず努力して、気を遣っています。自分のすべてをさらけ出したり、相手の気持ちを損ねるような言動は避けて、いつも明るくテンション高く、ちょっと「いい人」を演じているのです。男女差や年齢による違いは、それほど顕著ではありませんでしたが、中学生の女子だけは、少し異質で、交友関係に対する意識は、職場やママ友の世界にも通じるような印象でした。彼女たちは男子よりひと足早く、「子ども時代」を卒業しかけているのかもしれません。

(研究員A)

調査概要

調査エリア

全国

調査対象

小4～中3 男女 600人

	男性	女性	計
小学4年生	50	50	100
小学5年生	50	50	100
小学6年生	50	50	100
中学1年生	50	50	100
中学2年生	50	50	100
中学3年生	50	50	100
合計	300	300	600

調査日

原則毎月第2日曜日に調査実施

調査分析

公益財団法人博報堂教育財団 こども研究所

調査方法

インターネット調査

実施集計

株式会社H.M.マーケティングリサーチ

子どもの回答にあたっては、保護者の同意のもとで行っております。